

**コメント**

**1.腸管出血性大腸菌感染症**

第35週は3件報告されています。今年の累計は26件で、2000年以降の同時期までの発生数との比較では、3番目に多い報告数となっています。

月別報告数は、6月8件、7月6件、8月9件と、6月以降多発しています。9月になりましたが、引き続き注意が必要です。

**2.手足口病**

定点当り1.21人とやや増加しています。安芸区では9.5人と特に多くなっています。

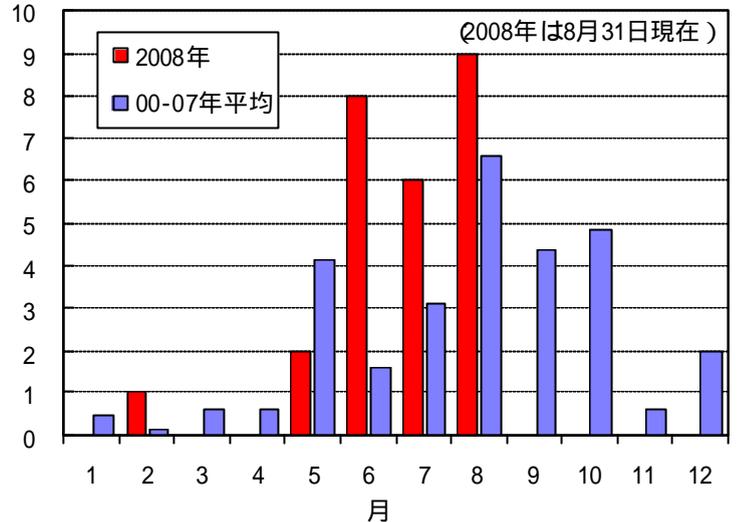
**3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点当り0.92人と増加しています。中区では2.7人となっています。

**4.百日咳**

2人(定点当り0.08人)報告されています(3歳1人、6歳1人)。

(件/月) **腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数**



**5類感染症報告状況 (定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		ヘルパンギーナ	14	0.58	0.74	↔
咽頭結膜熱	4	0.17	0.37		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.67	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	0.55	↗	RSウイルス感染症	2	0.08	-	
感染性胃腸炎	69	2.88	3.83	↔	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	13	0.54	0.53		流行性角結膜炎	3	0.38	0.83	
手足口病	29	1.21	0.61	↔	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	10	0.42	0.21		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.31	
突発性発疹	29	1.21	1.05		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
百日咳	2	0.08	0.08		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減

微増減 ↔ 前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)  
 (注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く  
 (注3) オウム病を除く

**1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)**

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	6	139	男性(40歳代)1人、男性(50歳代)1人、男性(70歳代)1人、男性(80歳代)2人、女性(80歳代)1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	26	男性(10歳未満)1人、男性(10歳未満)1人、女性(10歳未満)1人・すべてO157
4	レジオネラ症	1	10	男性(80歳代)

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

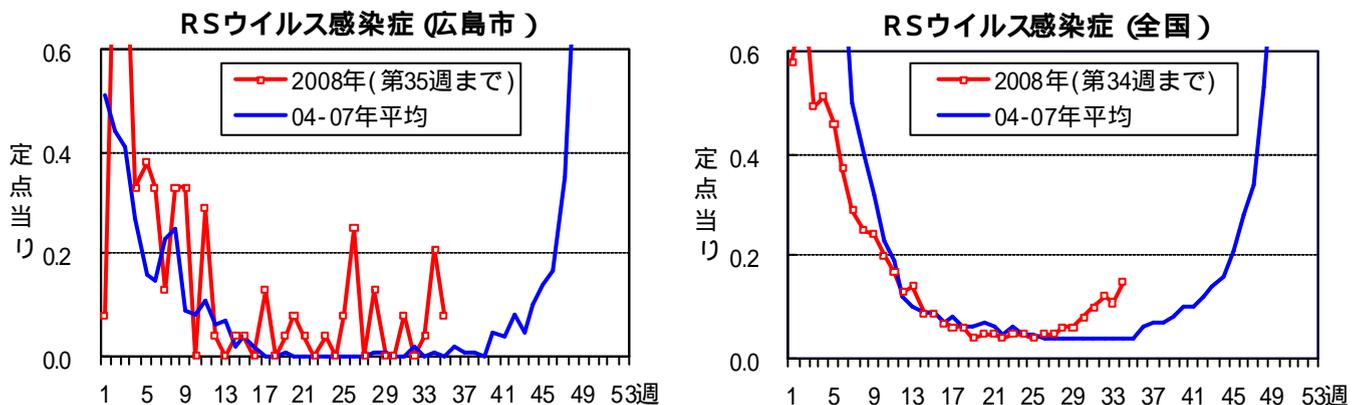
報告数	広島市	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注2)
			報告数	広島市	第31週	-	9	22	69	15	31	1	26	3	63	1	2	3	-	-
		第32週	-	11	19	68	12	35	4	23	3	28	1	-	-	1	-	-	-	1
		第33週	-	15	16	70	7	22	3	17	1	16	-	1	-	10	-	-	1	-
		第34週	-	10	13	67	12	21	4	21	3	18	2	5	-	3	1	-	-	-
		第35週	-	4	22	69	13	29	10	29	2	14	1	2	-	3	-	1	-	-
定点当り	広島市	第31週	-	0.38	0.92	2.88	0.63	1.29	0.04	1.08	0.13	2.63	0.04	0.08	0.38	-	-	-	0.14	-
		第32週	-	0.48	0.83	2.96	0.52	1.52	0.17	1.00	0.13	1.22	0.04	-	-	0.13	-	-	-	0.14
		第33週	-	0.63	0.67	2.92	0.29	0.92	0.13	0.71	0.04	0.67	-	0.04	-	1.25	-	-	0.14	-
		第34週	-	0.42	0.54	2.79	0.50	0.88	0.17	0.88	0.13	0.75	0.08	0.21	-	0.38	0.14	-	-	-
		第35週	-	0.17	0.92	2.88	0.54	1.21	0.42	1.21	0.08	0.58	0.04	0.08	-	0.38	-	0.14	-	-
	全国	第33週	0.01	0.57	0.53	2.13	0.60	1.61	0.06	0.58	0.03	1.54	0.39	0.11	0.02	0.60	0.01	0.05	0.35	0.01
		第34週	0.01	0.63	0.70	2.90	0.58	1.41	0.07	0.79	0.03	1.20	0.52	0.15	0.03	0.97	0.02	0.04	0.36	0.02

(注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く (注2)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	5	男	2008/04/24	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	3	女	2008/06/10	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA4型
咽頭結膜熱	0	男	2008/07/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB5型
腸重積	1	男	2008/07/25	糞便 鼻汁(拭い液)	アデノウイルス3型
熱性疾患	6	男	2008/06/30	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	3	男	2008/07/11	糞便	アデノウイルス2型
不明熱	0	女	2008/07/07	糞便	パレコウイルス3型
扁桃炎	1	男	2008/07/02	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA4型

## 【参考】広島市及び全国におけるRSウイルス感染症の発生動向



RSウイルス感染症は、例年11月から3月頃の冬季に流行し、夏季にはほとんどみられません。今年の夏は全国的に7月以降増加傾向で推移し、例年と比べて多くなっています。

広島市でも、6月から8月の小児科定点医療機関24か所からの報告数は、昨年の3人に対して、今年は22人と多くなっており、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.jp)

2008年第35週 (8月25日～8月31日)